

施工説明書別添付

保管用

屋内専用

# G型受信機 取扱説明書

お買い上げありがとうございます。  
正しくお使いいただくため、この説明書は大切に保管してください。

品番：NBG605AEA□□（□□は回線数）



**NDC** 日本ドライケミカル株式会社

# はじめに

- このたびは、日本ドライケミカル製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。**取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 万一、取扱説明書にしたがわず使用された場合の故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

## 取り扱いについてのご注意

- 平常時には次のことを守ってください。受信機の取り扱いを誤るとガスもれ時に正しく動作せず、避難・換気・爆発防止活動が大幅に遅れるおそれがあります。
- 受信機を音響強制停止状態にしない。
- 電源スイッチや電池を切らない。
- 正常な監視状態にあるか確認する。（「平常時の受信機の状態」(9 ページ)を参照）
- 警報が鳴ったら、まず現場を確認してください。

## ガスもれの場合

- 火気は使用しない。
- 電気製品のスイッチはさわらない。
- ドアや窓を開け、部屋の空気を入れかえる。
- 避難誘導をする。

## ガスもれでない場合

- 発生原因がわかれば取り除く。
- 発生原因不明のときは点検契約店に連絡し、再発防止を施す。

## 受信機の扉を開けるときのご注意

90° 以上、扉を開けると扉の変形や他の物品を破損するおそれがあるので注意してください。

## ご使用前に

- この設備は、ガス漏れ検知器などからの信号を受けてガスもれの発生を報知する働きをします。したがって、この設備は消火を行うものではありません。万一のガスもれなどによる損害については、責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- この設備は皆様の生命・財産をガスもれから守るための大切な設備です。取扱説明書をよく読み、各機器の正しい取り扱いを理解して、緊急時に備えてください。
- この設備は、常に正常な状態を維持するよう、有資格者による定期点検を行ってください。（定期点検は、施主様と施工店または点検契約店でご契約ください。）
- 本受信機の運用にあたっては、必ず現在の日付と時刻を設定してください。設定しないと、正しい発報／操作履歴データを記憶できません。設定方法については「現在時刻を設定する方法」(27 ページ)を参照してください。




# 安





この設備をご使用になる皆様へ


## 全上のご注意

この設備を正しくお使いいただくためや、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書にはいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。






内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合を表しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

 分解禁止	 必ず守る
 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (上図の場合は分解禁止が描かれています。)	
 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。	

 <b>危険</b>	
 接触禁止	<b>取り扱い管理される方へ</b> ●ガスもれ警報時、換気扇、扇風機および照明器具などの電気製品のスイッチはさわらない。 火花などによる爆発のおそれがあります。

## 警告

 禁止	<p style="text-align: center;"><b>取り扱い管理される方へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防火管理者および電気工事士・消防設備士などの資格者以外は受信機内部に手を触れない。 感電・故障の原因となります。</li> <li>●ぬれた手で受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけたりしない。 感電・故障の原因となります。</li> <li>●ガス漏れ検知器は絶対に取りはずさない。 ガスもれ時にガスもれの発見ができません。</li> <li>●点検用スイッチカバー内にあるスイッチは操作しない。 (点検資格者、消防設備士が操作するところです。)</li> </ul>
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>●機器を分解したり、修理・改造はしない。 感電・故障の原因となります。</li> </ul>
 禁止	<p style="text-align: center;"><b>点検・施工される方へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保守・点検以外で、受信機音響強制停止状態にしない。 ガスもれ時に警報音が出ないため避難・換気・爆発防止活動が大幅に遅れる危険があります。 (強制停止状態にすると、スイッチ注意灯・音響強制停止灯が点滅します。)</li> <li>●ぬれた手で受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけたりしない。 感電・故障の原因となります。</li> <li>●ガス漏れ検知器は絶対に取りはずさない。 ガスもれ時にガスもれの発見ができません。</li> <li>●電池は火に投入したり、ショートさせない。 爆発したり、やけど、火災になるおそれがあります。</li> </ul>
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●点検などで作動させる場合は、連動している設備の内容を十分確認して操作する。 不用意な操作は機器類に損害を与えたり、人に危害をおよぼすおそれがあります。</li> <li>●電池は必ず接続する。 電池を接続していないと停電時に機能しません。</li> <li>●試験終了後は、スイッチ注意灯が点滅しないよう該当するスイッチを平常時の状態に戻す。 戻さないとガスもれ時、正常なガスもれ警報動作をしません。</li> </ul>
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>●機器を分解したり、修理・改造はしない。 感電・故障の原因となります。</li> </ul>

## ⚠ 注意



必ず守る

### 取り扱い管理される方へ

- 受信機のスイッチなどが正常な監視状態にあるか確認する。  
正常な監視状態でないとガスもれ時に正しく動作しません。
- 点検用スイッチカバーは必ず閉じる。  
引っ掛けてケガをしたり、誤操作の原因となります。



必ず守る

### 点検・施工される方へ

- 点検などで作動させる場合は、連動している設備の内容を十分確認して操作する。  
不用意な操作は機器類に損害を与えたり、人に危害をおよぼすおそれがあります。
- 点検用スイッチカバーは操作後、必ず閉じる。  
引っ掛けてケガをしたり、誤操作の原因となります。

## 《予備電源（ニカド電池）取り扱い上のご注意》

## ⚠ 注意



禁止

- 電池は絶対に分解しない。  
電解液は強アルカリ性ですので、皮膚や衣類をいためたりします。
- 交換した電池は、火中に投入しない。  
電池が破裂する場合があります、危険です。電池はリサイクルに協力してください。



必ず守る

- コネクタは極性を守って正しく差し込む。  
逆に差し込むと電池のふくれや破裂の危険性があります。

# 定期点検について

防災設備は、設置後の保守点検・維持管理がともなって、はじめて正常な機能を発揮する商品です。  
施工店または点検契約店と「点検契約」を結んでください。

## 点検は法律で義務づけられています



消防関係法令では、防火対象物の関係者（建物の所有者、管理者または占有者）は定期点検の実施およびその結果を報告するように定められています。点検の結果は維持台帳に記録し、定められた期間ごとに消防長または消防署長に報告しなければなりません。

### ■消防法施行規則第31条の6

- 点検は、消防用設備などの種類および点検内容により1年以内で、消防庁長官が定める期間ごとに行う。
- 点検を行った結果は、維持台帳に記録し、消防機関へ報告を行わなければならない。

### ■点 検

対象の設備	点検の内容および方法	点検の期間
●ガス漏れ火災 警報設備	機 器 点 検	6ヶ月に1回
	総 合 点 検	1年に1回
配 線	総 合 点 検	1年に1回

### ■報 告

特定防火対象物の場合	1年に1回
特定防火対象物以外の場合	3年に1回

## 点検には資格が必要です



定期点検は、国が定めた資格者（消防設備点検資格者または消防設備士）が行うよう、法令で決められています。

### ■消防法第17条の3の3

- 消防用設備の点検は、消防設備士または総務省令で定める資格者に行わせなければならない。

## 「専門知識を有する会社」と点検契約をおすすめします



日本ドライケミカル製品取扱店と「点検契約」を結びますと、専門の知識・技術を持つ資格者が定期的に訪問し、責任を持って防災設備の点検をいたします。

防災設備の正常な機能を維持するために、「点検契約」を結ばれることをおすすめします。



# んなときは

●下記のような場合、消防法に適合しなくなったり、この設備が正常に機能しなくなるおそれがありますので、定期点検の時期まで待たずに、点検契約店にご連絡ください。

**増 改 築**

●増築や改装をしたとき

**修 繕**

●建物を修繕したとき

**塗 り か え**

●天井や壁を塗りかえたとき

**設 備 工 事**

●設備の工事をしたとき

**電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 工 事**

●電気・ガス・水道工事をしたとき


**天 災 被 害**

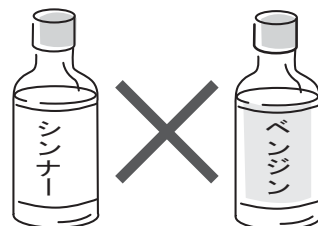
●台風・雷・地震などの被害を受けたとき

## お手入れ方法

●表面が汚れた場合は、次の方法でお手入れください。

- ふだんのおそうじは、やわらかい布でふき取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書にしたがってください。

 **注** ベンジンなどは引火性があるため危険ですので、使用しないでください。







1.各部のなまえとはたらき	9~10
2.受信機が警報した場合	11~13
●ガスもれの場合	11
●ガスもれでない場合	12
●音声警報スピーカーについて	12
●付属設備の作動について	13
●機器作動時の対処方法	13
3.日常点検	14
4.異常時の点検・処置	15~16

# 1

## 各部のなまえとはたらき

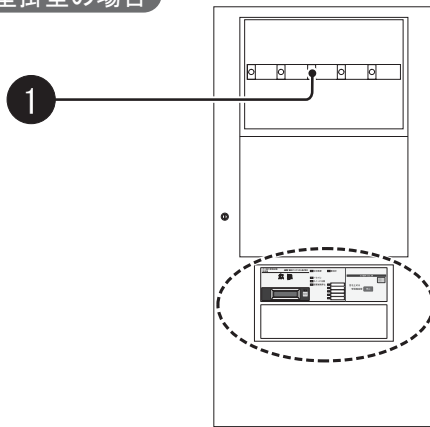
### 警告



禁止

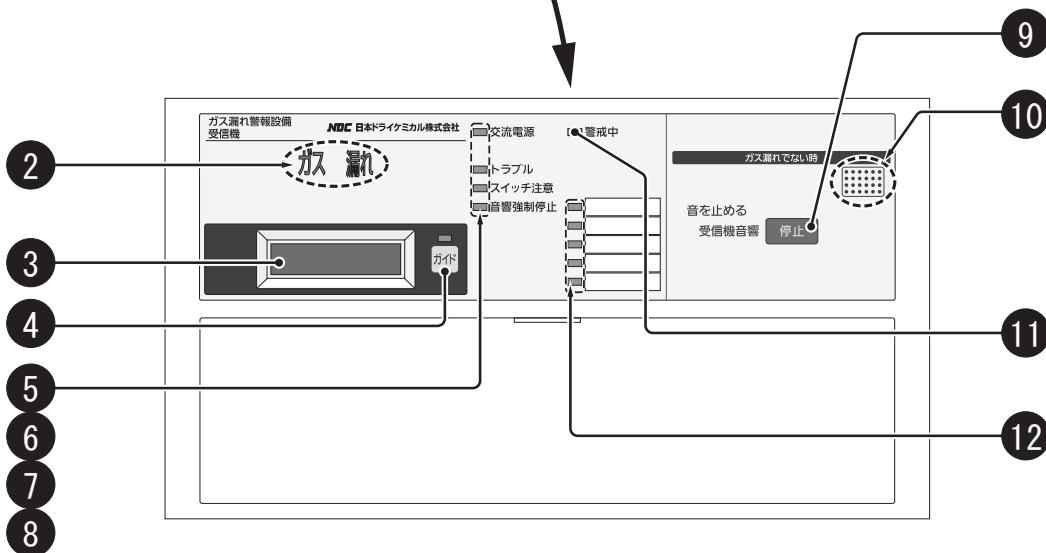
- 防火管理者および電気工事士・消防設備士などの資格者以外は受信機内部に手を触れない。感電・故障の原因になります。

壁掛型の場合



### 平常時の受信機の状態

- ガスもれが発生したとき、受信機が正常に動作するよう、平常時は下記の状態であることをお確かめください。
- 平常時において下記の状態とならない場合、「4. 異常時の点検・処置」(15ページ)の内容を確認のうえ、点検契約店にご連絡ください。
- 交流電源灯……点灯(緑)    ■ 警戒中灯……点灯(緑)  
上記以外はすべて消灯



### ■ 音声ガイドについて

音声ガイドが鳴動する受信機の状態が2つ以上あっても、下表の順番でより優先順位の高い内容のみを知らせます。

受信機の状態	音声ガイド内容
ガスもれ警報	ガスもれです。ガスもれです。現場を確認してください。
トラブル発生中	トラブルが発生しました。トラブル確認スイッチを押して内容を確認してください。
受信機音響強制停止中	受信機音響強制停止中です。
スイッチ注意灯点滅中	定位でないスイッチがあります。

## 1 地区灯(黄)

- 「点灯」でガスもれ発生
- 「早点滅」でガスもれ試験の回線選択時
- 「遅点滅」でガス漏れ検知器、又は配線の異常

## 2 ガス漏れ灯(黄)

ガスもれ信号が入れば点滅します。

## 3 液晶表示部

ガスもれ信号が入ったとき、地区灯の点灯と同時に発報回線を表示したり、トラブル内容の表示をしたりします。またガスもれ遅延時間中にガスもれ回線を表示します。

## 4 音声ガイドスイッチ(赤ランプ付)

受信機音響(主音響・機器作動音響・トラブル音響)が停止し、音声ガイドスイッチ灯が点滅しているときに押すと、受信機の状態を音声で知らせます。

※音声内容については、「音声ガイドについて」(9ページ)を参照してください。

## 5 交流電源灯(緑)

交流電源が入っていることを、点灯で知らせます。

## 6 トラブル灯(赤)

受信機または配線に異常が起きたとき、点滅で知らせます。点滅時は、施工店または点検契約店へ連絡してください。(異常の内容は液晶表示部で確認できます。)

## 7 スイッチ注意灯(赤)

いずれかのスイッチが通常の状態でないとき、点滅で知らせます。

## 8 音響強制停止灯(赤)

受信機音響(主音響・機器作動音響・トラブル音響)の「強制停止」状態が作動していると点滅で知らせます。

## 9 受信機音響停止スイッチ

押すと主音響・機器作動音響・トラブル音響が止まります。

(主音響・機器作動音響・トラブル音響は一度止めても、新たなガスもれ信号・諸警報信号・トラブル信号が入れば、再び鳴動します。)

## 10 音声警報スピーカー

ガスもれ・トラブル発生時等に、「音声+音響」または「音響のみ」で発生を知らせます。

※詳細については、「音声警報スピーカーについて」(12ページ)を参照してください。

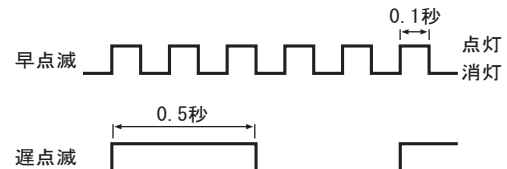
## 11 警戒中灯(緑)(平常時点灯していること)

電源投入後、約20秒で起動処理が完了し点灯します。音響強制停止状態の場合は消灯します。

## 12 諸警報表示部(赤)

諸設備に異常が起きたときに、点灯で知らせます。

### ■点滅について

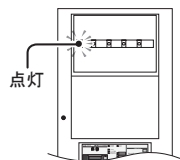


# 2

## 受信機が警報した場合

■ ガスもれ主音響が鳴ったら、次の手順で操作してください。

1 地区灯(黄)の点灯位置によってどこでガスもれが起きているか確かめる。



液晶表示部

GL001 ガス ハッセイ  
カクニッコ オンキョウテイシ

2 受信機音響停止スイッチを押し、主音響を止める。



GL001 ガス ハッセイ  
カクニッコ オンキョウテイシ



3 発生場所へ行き状況を確認する。

### ガスもれの場合

4 ① 火を消してガスの元栓を閉めてください。

② ドアや窓を開けて換気をしてください。もれたガスは空気より軽いため、室内の上部にたまっていますので、空気が流れるようにドアと窓を開けてください。

③ ガスがなくなれば、ガス漏れ検知器の警報ブザーは自動的に停止しますので、停止してからガスもれの箇所を点検してください。

● 受信機はガス漏れ検知器が復帰すると地区灯、ガス漏れ灯、主音響が復帰します。



ガスもれの原因として、点火ミス、立ち消え、器具栓が完全に閉まっていない、およびゴム管のひび割れなどが考えられます。

④ ガス漏れ検知器の警報ブザーが停止しないとき、または、警報ブザーが停止してもガスもれ箇所がわからないときは、直ちに点検契約店またはガス取扱店に連絡してください。

#### 警報ブザーが鳴っている間

- マッチ、ライターなど火気は使用しないでください。
- 換気扇、扇風機、その他の電気製品のスイッチには一切触れないでください。
- ガス漏れ検知器本体は取りはずさないでください。

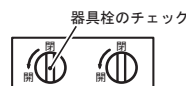
! 閉める



! 開ける



! 調べる



せっけん水を塗る



アワがふくれたら、そこがガスもれの場所

! 連絡する



危険!

火花などによる爆発のおそれがあります。

## ガスもれでない場合

### 4 地区灯の点灯している警戒地区で次の状況を確認め処置をする。

- みりん、しょう油、ワイン、酒の罐の蒸気などでブザーが鳴っていないか？
- 殺虫剤（くん煙殺虫剤、加熱蒸散殺虫剤も含む）、化粧品などのスプレーでブザーが鳴っていないか？
- シンナー、ペンキなど可燃性の溶剤や塗料などで、ブザーが鳴っていないか？
- 濃厚なタバコの煙で、ブザーが鳴っていないか？

ガスもれの原因が不明確で警報ブザーが停止しないときは、直ちに点検契約店またはガス取扱店へ連絡してください。

### ■液晶表示部について

※液晶表示部にメッセージを表示させることもできます。  
(設定説明書を参照してください。)



### ■液晶表示部の表示切替

回線表示と部屋番号メッセージ表示を  
◀(左)・▶(右)選択スイッチを押すこ  
とで切替えることができます。

部屋番号：1021号の場合

1021号 ガス ハッセイ  
カクニコン オンキョウテイシ



◀(左)・▶(右)選択スイッチ

GL001 ガス ハッセイ  
カクニコン オンキョウテイシ

### ■液晶表示部の拡大表示

について

部屋番号を拡大表示させることもできます。  
拡大表示の場合は、ガイド表示部の文言は  
表示されません。

(部屋番号メッセージ設定については、  
設定説明書を参照してください。)

1021

部屋番号：1021の拡大表示

## 音声警報スピーカーについて

受信機の状態	音響	音声(※1)
ガスもれ警報	ピー	ガスもれです。ガスもれです。 現場を確認してください。(男性の声)
トラブル時	ピーー	トラブルが発生しました。(女性の声)
諸警報入力	プープープー(※2)	-

※1 設定により、音響のみ(音声なし)を鳴動させる設定もできます。  
※2 設定により、鳴動させない設定ができます。(出荷時設定「鳴動する」)  
各種設定については施工店・点検契約店にご相談ください。

## 2 受信機が警報した場合

### 付属設備の作動について

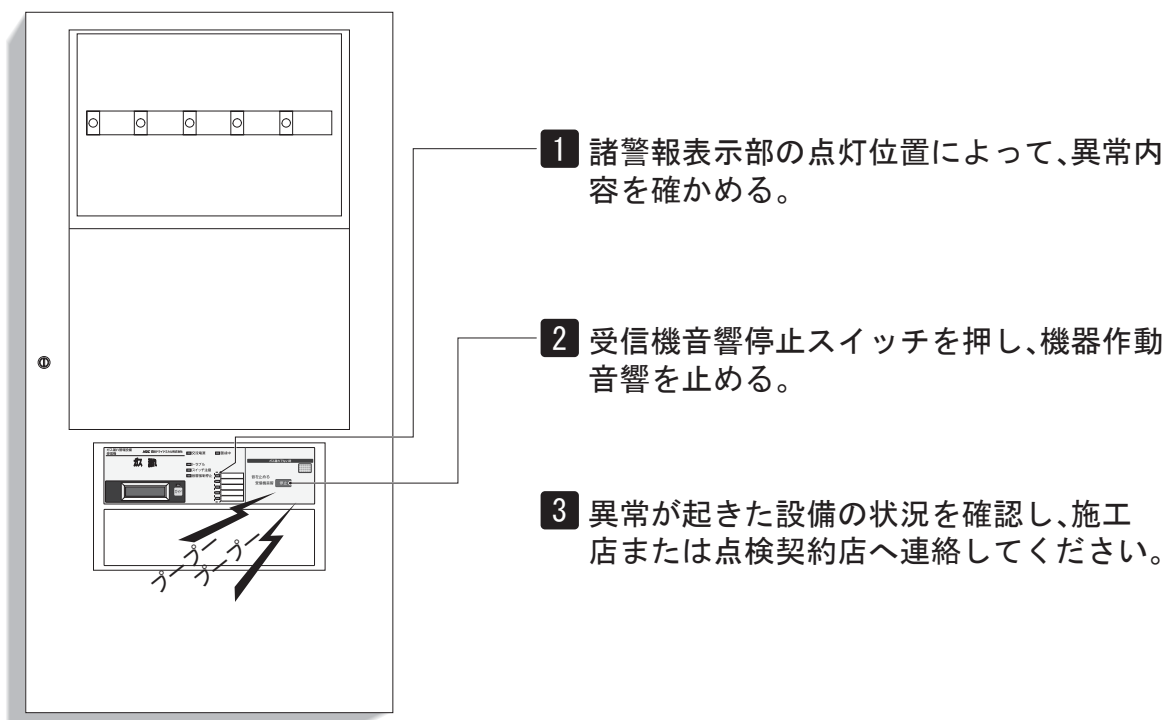
付属設備がある場合のガスもれ警報時の作動は、次のようになります。  
あらかじめ、どのような付属設備が設置されているか確認してください。

#### 副 受 信 機

●受信機のガスもれ表示とともに副受信機の地区灯が点灯して、ブザーが鳴ります。

### 機器作動時の対処方法

●機器作動音響(プープーパー)が鳴ったら次の処置をしてください。



●図は壁掛型の場合

# 3

## 日常点検

### ⚠ 注意



必ず守る

- 日常、次の点検を行う。  
緊急時の操作に支障をきたしたり、不動作、作動遅れ、誤動作の原因となります。

#### 受信機

- 「平常時の受信機の状態」に保たれているか？  
(9ページ参照)
- 近くに、操作の支障となる障害物が置かれていないか？

#### ガス漏れ検知器

- 変形、割れ、著しい汚れなどがいないか？
- 有効期限を過ぎていないか？

#### ガス漏れ表示灯

- ランプが切れていないか？
- カバーの割れ、亀裂はないか？

機器に異常が見つかった場合は、点検契約店へご連絡ください。

# 4 異常時の点検・処置

## 警告



必ず守る

この設備に異常があるときは以下の点検・処置をしてください。  
異常を放置するとガスもれ時に警報が出ないため避難・換気・爆発防止活動が大幅に遅れる危険があります。

- 以下の異常状態のときは、取り扱いされる方が点検・処置をしてください。  
正常に戻らなかった場合は、施工店または点検契約店に連絡してください。

状 態	点 検	処 置
交流電源灯が消灯している。 警戒中灯が消灯し、操作部のすべての表示灯が点灯している。	ガス漏れ火災警報設備専用ブレーカーが「切(OFF)」側になっていないか？	専用ブレーカーを「入(ON)」側にする。
ガスもれでないのに警報動作をする。	ガス漏れ検知器の近くで、殺虫剤(くん煙殺虫剤、加熱蒸散殺虫剤も含む)、化粧品などのスプレーを使用していないか？	窓やドアを開け、換気をする。
	ガス漏れ検知器の近くで、シンナー、ペンキなど可燃性の溶剤や塗料を使用していないか？	
	ガス漏れ検知器にみりん、しょう油、ワイン、酒の罐の蒸気がかかっているか？	
	ガス漏れ検知器に濃厚なタバコの煙がかかっているか？	
諸警報表示部が点灯し、機器作動音響もしくはトラブル音響が鳴動している。	諸警報表示部の点灯位置によって、異常内容を確認する。	異常が起きた設備の状況を確認し、施工店または点検契約店へ連絡する。



●以下の異常状態のときは、施工店または点検契約店に連絡してください。

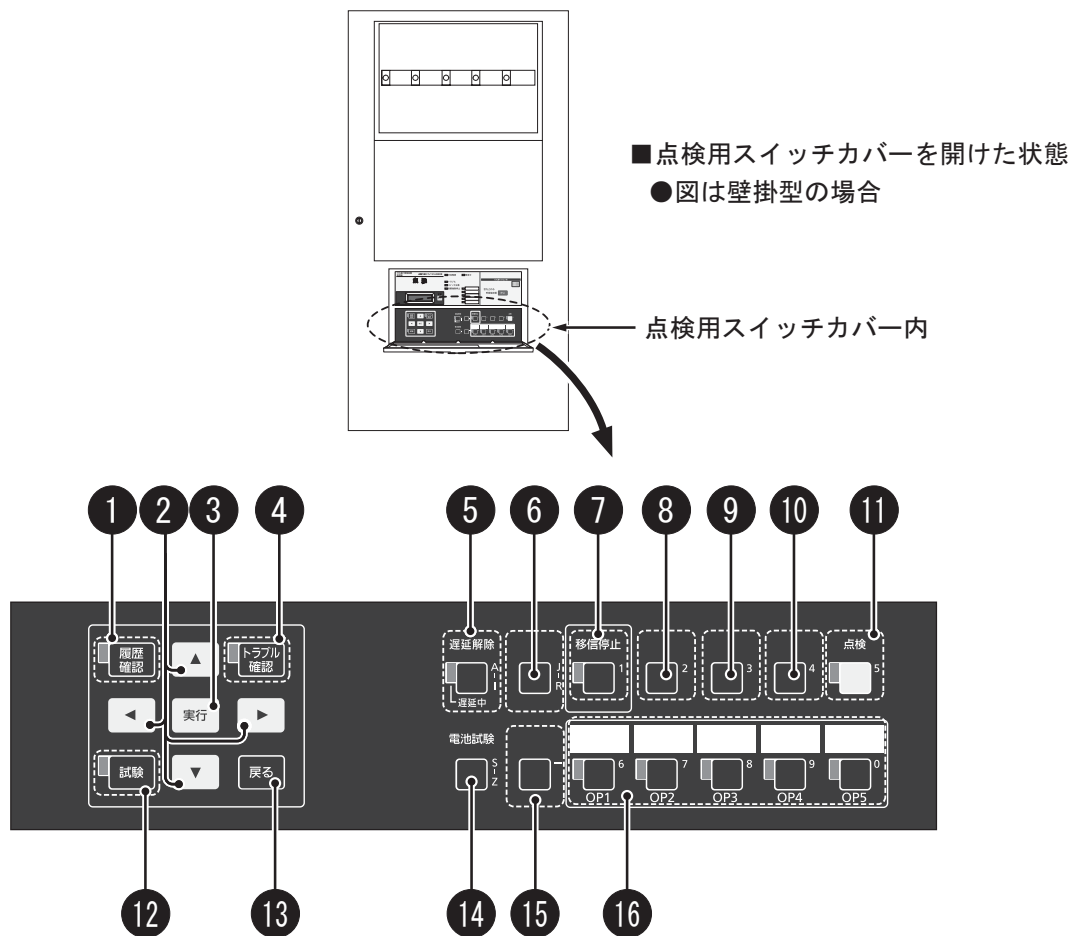
状 態	点 検	処 置
警戒中灯が消灯している。	音響強制停止灯(赤)が点滅していないか？	受信機音響強制停止状態を解除する。
ガスもれでないのに警報動作をする。	ガスもれ以外の原因はないか？	日常点検をする。
操作表示部の警戒中灯以外のすべてのランプが点灯し、液晶表示部に「トラブル ドウサフノウ」が表示している。	ガス漏れ火災警報設備専用ブレーカーが「切(OFF)」側になっていないか？	専用ブレーカーを「入(ON)」側にする。
	受信機内の交流電源スイッチが「切(OFF)」側になっていないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入(ON)」側にする。
	交流一次側ヒューズ(F1・F2)が切れていないか？	受信機内部の異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
	停電などにより交流電源が切れていないか？	停電状態が復電するまで待つ。
	副受信機電源(GI+、GI-)が20.4V以上あるか？	受信機内部の電源回路が異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
トラブル灯が点滅、トラブル音響が鳴動し、液晶表示部に「トラブル * * *」が表示している。	トラブル確認操作により、トラブル内容・発生場所を確認する。 (トラブル確認操作については「トラブル確認の方法」(29ページ)を参照してください。)	「トラブル確認の方法」(29ページ)の該当項目の点検・処置を行う。
GL-GC 配線のガス漏れ検知器をはずしても、故障表示しない。	該当回線が空き回線登録されていないか？	ガス漏れ検知器を接続した状態で空き回線登録を再度行う。



1. 各部のなまえとはたらき	19~20
2. 点検のしかた	21~39
●点検する前に	21
●一斉試験の方法	21~22
●ガスもれ試験の方法	23
●ガス漏れ検知器の作動回線の 液晶表示部での確認方法	24
●電池試験と電池の電圧測定方法	25
●受信機音響の強制停止のしかた	26
●定時試験について	27
●現在時刻を設定する方法	27
●機能設定(ソフト設定)の開始方法	28
●機能設定(ソフト設定)の終了方法	28
●交流電源スイッチを「入 (ON)」側に するときのご注意	28
●交流電源スイッチを「切 (OFF)」側に するときのご注意	28
●トラブル確認の方法	29~31
●発報/操作履歴の確認方法	32~35
3. 内部回路図	37~38
4. 定格・仕様	39

# 1

## 各部のなまえとはたらき



### 1 履歴確認スイッチ／履歴確認スイッチ灯(赤)

履歴確認を行うときに使用します。押すと液晶表示部に履歴メニューを表示し、履歴確認スイッチ灯とスイッチ注意灯が点滅します。もう一度押すと、液晶表示部、履歴確認スイッチ灯とスイッチ注意灯が消灯します。

### 2 ▲(上)・▼(下)・◀(左)・▶(右) 選択スイッチ

表示画面内容を切り替えるとき、またはガスもれ試験時の回線選択時に使用します。

### 3 実行スイッチ

表示画面内容を実行するときに使用します。

### 4 トラブル確認スイッチ／トラブル確認スイッチ灯(赤)

トラブル確認を行うときに使用します。押すと液晶表示部にトラブル内容を表示し、トラブル確認スイッチ灯とスイッチ注意灯が点滅します。もう一度押すと、液晶表示部、トラブル確認スイッチ灯とスイッチ注意灯が消灯します。

### 5 遅延解除スイッチ／遅延解除スイッチ・遅延中灯(赤)

ガスもれ遅延時間の経過中に点滅します。押すと遅延機能が解除されます。

(遅延解除スイッチ・遅延中灯／スイッチ注意灯……………点滅)  
もう一度押すと、遅延機能が有効になります。  
(遅延解除スイッチ・遅延中灯／スイッチ注意灯……………消灯)

↓ 次のページに続く

## 6 J-Rスイッチ

使用しません。  
(ソフト設定時のみ使用します。)

## 7 移信停止スイッチ／ 移信停止スイッチ灯(赤)

- 押すと代表移信接点 (GFa1・GFb1-GFc1、GFa2・GFb2-GFc2、GFa3-GFc3、GFa4・GFb4-GFc4、GFa5-GFc5)の出力が「停止」状態となります。  
(移信停止スイッチ灯／スイッチ注意灯…点滅)  
もう一度押すと、停止解除になります。  
(移信停止スイッチ灯／スイッチ注意灯…消灯)
- 回線別移信 (In-IC) も移信停止スイッチで停止します。(出荷時設定) 回線別移信 (In-IC) を停止するスイッチは、ソフト設定で変更することができます。(詳しくは設定説明書を参照してください。)

## 8 2スイッチ

使用しません。  
(ソフト設定時のみ使用します。)

## 9 3スイッチ

使用しません。  
(ソフト設定時のみ使用します。)

## 10 4スイッチ

使用しません。  
(ソフト設定時のみ使用します。)

## 11 点検スイッチ／点検スイッチ灯(赤)

受信機音響強制停止、全回線空き回線登録解除を行うときに使用します。点検スイッチを1秒以上押したときに点滅(スイッチ有効状態)します。点検スイッチを1秒以上押した場合は、点検スイッチを放した後も点検状態を継続します。(10秒点滅継続)

## 12 試験スイッチ／試験スイッチ灯(赤)

一斉試験、ガスもれ試験を行うときに使用します。押すと液晶表示部に試験メニューを表示し、試験スイッチ灯とスイッチ注意灯が点滅します。もう一度押すと、液晶表示部、試験スイッチ灯とスイッチ注意灯が消灯します。

## 13 戻るスイッチ

表示画面内容を1つ前の階層に戻すときに使用します。

## 14 電池試験スイッチ

押すと自動的に電池試験を行います。試験結果は液晶表示部に表示します。テスターなどで電圧を測定する場合は、受信機内部の電圧測定用の端子を利用します。

## 15 ースイッチ

使用しません。  
(ソフト設定時のみ使用します。)

## 16 OP(オプション)スイッチ1・2・3・ 4・5／OP(オプション)スイッチ1 灯・2灯・3灯・4灯・5灯(赤)

押すと設定された動作をします。各代表移信接点を連動停止や接点出力などに設定可能です。詳しくは、設定説明書を参照してください。  
(OPスイッチ灯／スイッチ注意灯……………点滅)  
もう一度押すと、元に戻ります。  
(OPスイッチ灯／スイッチ注意灯……………消灯)

## 2 点検のしかた

### 点検する前に



### 警告



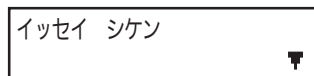
必ず守る

- 点検などで作動させる場合は、連動している設備の内容を十分確認して操作する。不用意な操作は機器類に損害を与えたり、人に危害をおよぼすおそれがあります。
- 点検用スイッチカバーは操作後、必ず閉じる。引っ掛けてケガをしたり、誤操作の原因となります。
- 試験終了後は、スイッチ注意灯が点滅しないよう該当するスイッチを平常時の状態に戻す。  
ガスもれ時、正常なガスもれ警報動作をしません。

### 一斉試験の方法

- この試験は、1回線目から順次、自動的に受信機内の試験をします。実際のガスもれ発生時にシステムとして正常に作動することの確認はガス漏れ検知器などの機器を含めて、試験をしてください。
- 各試験で記載どおりに動作しない場合は、施工店または点検契約店に連絡してください。
- 以下の試験は、点検用スイッチカバーを開けて実施してください。

- 1 試験スイッチを押し、液晶表示部に「イッセイ シケン」を表示させてから実行スイッチを押す。  
(試験スイッチ灯、スイッチ注意灯が点滅します。)



- 「ガスもれ表示試験」「使用回線表示試験」「ランプ表示試験」「遅延時間測定試験」「メモリー試験」を順次、自動的に行います。

#### ガスもれ表示試験

- 2 地区灯が回線ごとに順次点灯することを確認する。

- 順次点灯するごとにガス漏れ灯が点灯し、主音響(音響のみ)が鳴動することを確認してください。
- 代表移信の出力はしません。

#### 使用回線表示試験(ガスもれ回線)

- 3 使用されているガスもれ回線の地区灯だけが点灯することを確認する。(約10秒間)

↓ 次のページに続く

### ランプ表示試験

- 4 ガス漏れ灯、地区灯、操作部のすべてのランプが点灯することを確認する。(約10秒間)

●液晶表示部は約5秒間、全面「■」表示、その後約5秒間「(表示なし)」になります。



約5秒間表示



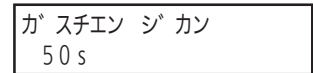
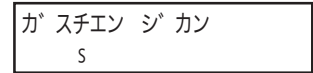
約5秒間表示

### 遅延時間測定試験

- 5 ① ピツという音で、遅延時間測定開始を知らせます。

② 50秒後

●ピツという音で、遅延時間測定終了を知らせます。



●Sは「秒」を示します。

### メモリー試験

- 6 受信機内部で自動的にプログラムデータのチェックをする。

●「メモリ シケン NG」と表示された場合は、施工店または点検契約店に連絡してください。  
●良の場合は、「メモリ シケン OK」と表示されます。

- 7 試験スイッチを再度押し、平常時の監視状態に戻す。

●試験スイッチ灯、スイッチ注意灯、液晶表示部が消灯します。

### 試験中にガスもれを受信した場合

自動的に試験状態を解除し、ただちにガスもれ警報します。



液晶表示部は「イッセイ シケン」の表示に戻ります。(試験開始前の表示)  
試験スイッチを再度押すことにより、ガスもれの表示に切り替わります。

## ガスもれ試験の方法

この試験は、受信機内の試験をします。実際のガスもれ発生時にシステムとして正常に作動することの確認は、ガス漏れ検知器などの機器も含め、別途試験をしてください。

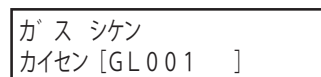
●以下の試験は、点検用スイッチカバーを開けて実施してください。

**1** 試験時、この受信機と接続されている機器を連動させないようにする場合は、次の該当するスイッチを押す。(スイッチ注意灯が点滅します。)

- ガスもれ代表移信をしないときは、「移信停止スイッチ」を押してください。(移信停止灯が点滅します。) ガスもれ代表移信接点(出荷時設定の場合、(GFc1-GFa1、GFb1)(GFc2-GFa2、GFb2)(GFc3-GFa3)(GFc4-GFa4、GFb4)(GFc5-GFa5))が連動しません。
- 受信機の音響を鳴動させない場合は、受信機音響強制停止状態にしてください。(音響強制停止灯が点滅します。)
- 回線別移信をしないときは、回線別移信停止設定した該当のスイッチを押してください。(回線別移信停止設定については、設定説明書を参照してください。) 押すと回線別移信(In-IC)の出力が停止になります。(IC以外のコモン端子(IC0、IC1、…ICn)を使用している場合は出力停止しません。)

**2** 試験スイッチを押し、続いて▼スイッチを押し、液晶表示部に「ガス シケン」を表示させてから実行スイッチを押す。

- 液晶表示部下段に「カイセン [GL001]」が表示され、該当の地区灯が早点滅します。



**3** ▲▼ スwitchを押し、ガスもれ試験を行う回線を選択する。

- 選択した回線の地区灯が早点滅します。

**4** 回線選択した後、実行スイッチを押し続けると約 50 秒の遅延時間経過後、ガス漏れ灯が点滅し、該当する地区灯が点灯します。

- 遅延解除スイッチ・遅延中灯(赤)が点灯しますので、この間(約 50 秒間)実行スイッチを押し続けてください。
- 主音響が鳴動します。(強制停止していない場合)



**5** 実行スイッチを押すのをやめると、警報が止まる。

**6** 試験スイッチを押すと液晶表示部と地区灯が消える。

(回線選択状態のまま放置した場合でも約 32 分後に消えます。)

**7** **1**で連動停止・音響停止させたスイッチを平常時の状態に戻す。

(各スイッチ内のランプは消灯します。)

**8** スwitch注意灯が消灯し、平常時の監視状態に戻る。

### 試験中にガスもれを受信した場合

- 試験中の回線がガスもれを受信した場合、**5**の操作のあともガスもれ警報を継続します。
- 試験中以外の回線の地区灯が点灯した場合、その回線でガスもれ発生の可能性がありますので**5**の操作後ガスもれの確認を行ってください。



### ガス漏れ検知器の作動回線の 液晶表示部での確認方法

- この操作は、ガスもれが複数箇所発生しているとき、メッセージや回線を確認するための操作です。
- 以下の操作は、点検用スイッチカバーを開けてください。

(1) メッセージ表示を回線表示に切り替えたい場合

1 Fレストラン ガス ハッセイ  
カクニンゴ オンキョウテイシ



▶スイッチ(または◀スイッチ)を押すたびにメッセージ表示と回線表示が切り替わります。

GL001 ガス ハッセイ  
カクニンゴ オンキョウテイシ



メッセージを表示させたい場合はソフト設定が必要です。詳しくは設定説明書を参照してください。

(2) ガスもれが複数箇所発生している場合

例 ガスもれが3箇所発生

1 Fレストラン ガス ハッセイ  
カクニンゴ オンキョウテイシ (第1報目の表示)



2 Fレストラン ガス ハッセイ  
カクニンゴ オンキョウテイシ (第2報目の表示)



3 Fレストラン ガス ハッセイ  
カクニンゴ オンキョウテイシ (第3報目の表示)



ガス ハッセイ  
カクニンゴ オンキョウテイシ (表示ブランク)



1 Fレストラン ガス ハッセイ  
カクニンゴ オンキョウテイシ (第1報目の表示)

## 電池試験と電池の電圧測定方法

この試験は、受信機の予備電源として内蔵されている電池と、ガス漏れ検知器電源の予備電源として内蔵されている電池に異常がないかを調べるものです。電池電圧値を測定する場合は、下記の「電圧測定」をしてください。

### 電池試験

- 以下の試験は、点検用スイッチカバーを開けて実施してください。

#### 1 電池試験スイッチを押す。

- 液晶表示部上段に受信機の電池試験中表示「ジュシンキ：シケン チュウ」、下段にガス漏れ検知器電源の電池試験中表示「ケイホウキ：シケン チュウ」が表示され、自動的に5秒間電池試験を実行します。電池試験スイッチを押し続けることにより、連続して電池試験を実施することができます。  
(受信機の電池試験中は交流電源灯が消灯します。)
- 電池試験スイッチを5秒以上押し続けた場合は、電池試験スイッチを押すのをやめた時点で結果表示を行います。



ジュシンキ：シケン チュウ  
ケイホウキ：シケン チュウ

#### 2 受信機の試験結果が「良」の場合は液晶表示部上段に「ジュシンキ：リョウ \*\*.\*V」(\*\*.\*Vは電池電圧)が表示され、ガス漏れ検知器電源の試験結果が「良」の場合は、液晶表示部下段に「ケイホウキ：リョウ」が表示されます。

- 液晶表示部の電池電圧は目安です。正確な電池電圧を測定する場合は下記の「電圧測定」をしてください。
- 「不良」の場合、電池を交換してください。(施工説明書を参照)

受信機「良」、ガス漏れ検知器電源「不良」の場合

ジュシンキ：リョウ \*\*.\*V  
ケイホウキ：フリョウ

受信機「不良」、ガス漏れ検知器電源「良」の場合

ジュシンキ：フリョウ  
ケイホウキ：リョウ

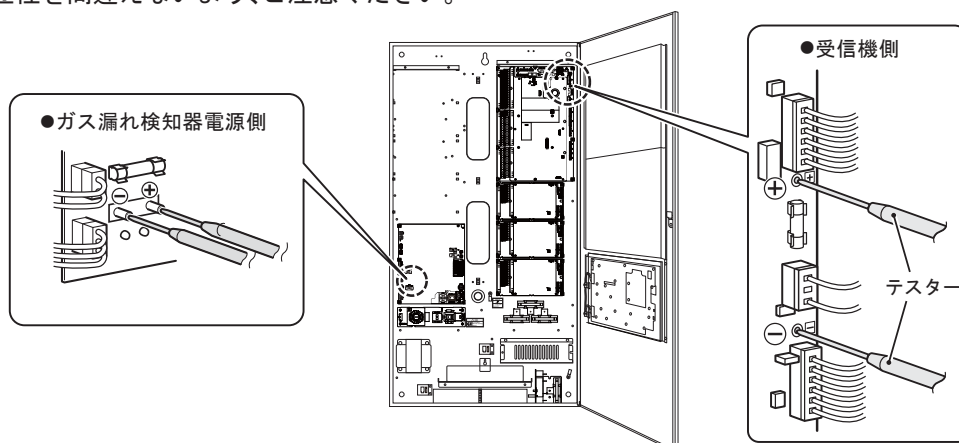
### 電圧測定

- 以下の試験は、扉を開けて実施してください。

#### 1 電池試験スイッチを押し、液晶表示部に「シケン チュウ」を表示している間に、本体内の電池電圧の端子にテスターを当てて測定する。

(20.4V以上あれば正常です。)

**注** 極性を間違えないよう、ご注意ください。



### 受信機音響の強制停止のしかた

- 点検時、受信機から主音響・トラブル音響・機器作動音響を鳴動させない場合に設定します。
- 受信機の音響を止める場合は、「点検スイッチ」を1秒以上押して点検状態(点検スイッチ灯点滅)のときに「受信機音響停止スイッチ」を押してください。  
(スイッチ注意灯と音響強制停止灯が点滅し、警戒中灯が消灯します。)



### 解除する場合

- 再度「点検スイッチ」を1秒以上押して点検状態(点検スイッチ灯点滅)のときに「受信機音響停止スイッチ」を押してください。  
(スイッチ注意灯と音響強制停止灯が消灯し、警戒中灯が点灯します。)



## 定時試験について

- この試験は受信機内の試験です。
- 定時試験の内容は、「ガス漏れ受信回路試験」「電源試験(電池試験)」「登録データのチェック」です。
- 試験は毎日設定された時刻に実施し、異常がある場合は168時間(7日)以内に検出します。異常を検出した場合、トラブル灯が点滅し、液晶表示部にトラブル表示します。  
 ( ●定時試験開始時刻の設定については、設定説明書を参照してください。  
 ●トラブル発生時の点検・処置については、「トラブル発生時の点検・処置」(30ページ)を参照してください。 )

## 現在時刻を設定する方法

- 本受信機の運用にあたっては、必ず現在の日付と時刻を設定してください。設定しないと、正しい発報/操作履歴データを記憶できません。



受信機の交流電源スイッチを「切(OFF)」側(電池もはずした状態)にしたときの現在時刻のバックアップ時間は約48時間です。

- 以下の試験は、点検用スイッチカバーを開けて実施してください。

- 履歴確認スイッチを押し、続いて▼スイッチを押して、液晶表示部に「ゲンザイ ジョク セッテイ」を表示させてから実行スイッチを押し。

- 履歴確認スイッチ灯、スイッチ注意灯が点滅します。
- 現在の日付・時刻が表示されます。

- ◀▶スイッチを押して、カーソル([ ])を年、月、日、時、分のいずれかにあわせ、▲▼スイッチで値を変更する。

- 実行スイッチを押し。

- 実行スイッチを押さないと、現在時刻の設定は行われません。

(実行スイッチを押さずに、戻るスイッチを押すと変更がキャンセルされます。)

- 履歴確認スイッチを再度押すと、平常時の監視状態に戻る。

- 履歴確認スイッチ灯、スイッチ注意灯が消灯します。

例 現在の日付・時刻：  
2015年6月7日12時34分

ゲンザイ ジョク セッテイ

ゲンザイ ジョク  
[15]/06/07 12:34

年/月/日 時:分

例 時刻を12時34分から13時30分に変更する場合

ゲンザイ ジョク  
[15]/06/07 12:34

3回押す

ゲンザイ ジョク  
15/06/07 [12]:34

1回押す

ゲンザイ ジョク  
15/06/07 [13]:34

1回押す

ゲンザイ ジョク  
15/06/07 13:[34]

4回押す

ゲンザイ ジョク  
15/06/07 13:[30]

例 現在の日付・時刻：  
2015年6月7日12時34分

ゲンザイ ジョク セッテイ

### 機能設定(ソフト設定)の開始方法

- 電池接続コネクタを抜いて、電源スイッチを「切」にした状態から本体内部のソフト設定スイッチを押しながらか電源投入することで機能設定(ソフト設定)が開始します。  
交流電源灯・警戒中灯・トラブル灯・スイッチ注意灯が点滅します。  
(設定項目、設定方法等詳しい内容は設定説明書を参照してください。)

### 機能設定(ソフト設定)の終了方法

- 液晶表示部に右記内容が表示されるまで戻るスイッチを押します。
- 実行スイッチを押し、すべての設定内容を保存します。  
保存終了後、登録完了音(ピッピッピッ)が鳴り、受信機が再起動します。

セッテイ シュウリョウ	▲
シ ッコウデ <sup>※</sup> END	▼



本操作を行わないと、設定データは書き換わりません。

### 交流電源スイッチを「入(ON)」側にする ときのご注意

移行連動は、すべて停止解除(連動可能)状態で起動します。接続されている機器が連動しないように注意してください。

### 交流電源スイッチを「切(OFF)」側にする ときのご注意

受信機の電源を切る場合は、電池接続コネクタを抜いた後、約 10 秒以上待つてから、交流電源(AC100V)スイッチを「切(OFF)」側にしてください。約 10 秒待たずに受信機の交流電源を「切(OFF)」側にした場合は、発報/操作履歴データが記憶できない場合があります。

## トラブル確認の方法

●この操作はトラブル灯が点滅し、トラブル音が鳴動したとき、トラブルの内容を確認するための操作です。

●以下の操作は、点検用スイッチカバーを開けて実施してください。

### 1 トラブルが発生すると

- トラブル灯が点滅し、トラブル音（「ピー トラブルが発生しました。」）が鳴り、液晶表示部にトラブル内容を表示します。



トラブル ヒューズ ダン  
オンキョウテイシ ソウサ

### 2 受信機音響停止スイッチを押す。

- トラブル音が止まります。



トラブル ヒューズ ダン

## トラブルが複数箇所発生している場合

### 1 トラブル確認スイッチを押す。

- トラブル確認スイッチ灯とスイッチ注意灯が点滅します。
- 液晶表示部上段に「トラブル 001 / n」(1 番目のトラブル)  
(n: 総発生数)、下段にトラブル内容を表示します。
- トラブル内容の音声メッセージが鳴動します。  
(音声メッセージが鳴動するトラブルについては「トラブル発生時の点検・処置」(30 ページ)を参照してください。)



トラブル 001 / 003  
ヒューズ ダン

例) トラブルが全部で 3 ヲ所発生していて 1 番目に表示されるトラブルがヒューズ断線の場合

### 2 ▼スイッチを押すたびに次のトラブル内容に変わります。

- トラブル表示順番は発生順ではなく「トラブル発生時の点検・処置」(30 ページ)の順番になります。
- 一部のトラブルについては音声でも知らせます。(受信機音響強制停止中は鳴動しません。)

### 3 「トラブル発生時の点検・処置」(30 ページ)にしたがってトラブルを復旧させる。

- トラブルが復旧すれば、トラブル灯が消灯し、液晶表示部のトラブル内容も消えます。

## 2 点検のしかた

### ■トラブル発生時の点検・処置

トラブル名称 [液晶表示部の表示内容]	トラブル内容の 音声メッセージ	点 検	処 置
交流電源断 [AC タン]	交流電源が 切れています。	受信機内の交流電源スイッチが「切(OFF)」側になっていないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入(ON)」側にする。
		AC100V 配線が断線していないか？	配線を直す。
		停電などにより交流電源が切れていないか？	停電状態が復電するまで待つ。
		交流電源一次側ヒューズ (F1・F2) が切れていないか？	受信機内部の異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
ガス漏れ検知器電源異常 [カステンゲン]	-	ガス漏れ検知器電源電池が未接続状態ではないか？	受信機内ガス漏れ検知器電源の電池を接続する。
		ガス漏れ検知器電源電池ヒューズ (FG4) が切れていないか？	ヒューズ (FG4) を交換する。
		電池試験を行い、ガス漏れ検知器電源電池試験結果が「良」となるか？	新しい電池と交換する。
		ガス漏れ検知器電源交流電源スイッチが「切(OFF)」側になっていないか？	受信機内ガス漏れ検知器電源の交流電源スイッチを「入(ON)」側にする。
		ガス漏れ検知器電源交流一次側ヒューズ (FG1・FG2) が切れていないか？	ヒューズ (FG1・FG2) を交換する。
		ガス漏れ検知器電源交流二次側ヒューズ (FG3) が切れていないか？	ヒューズ (FG3) を交換する。
電池未接続 [BT ハスレ]	バッテリーが 異常です。	電池が接続されているか？	受信機内の電池を接続する。
		電池ヒューズ(F3)が切れていないか？	ヒューズを交換する。
電池試験不良 [BTシケン NG]	バッテリーが 異常です。	電池試験を行い、電池試験結果が「良」となるか？	新しい電池と交換し、再度電池試験を行い結果が「良」になることを確認する。 (新しい電池に交換しても、再度電池試験をしないと「BTシケン NG」の表示は消えません。)
主回路電圧異常 [テンアツ Err]	回路電圧が 異常です。	交流電源スイッチが「切(OFF)」側の状態で電池の電圧が低下していないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入(ON)」側にする。
		停電などにより、受信機の交流電源が切れていないか？	停電状態が復電するまで待つ。
		副受／中継器用電源 (G1+-G1-) が 20.4V 以上あるか？	受信機内部の電源回路が異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
		交流電源一次側ヒューズ (F1・F2) が切れていないか？	受信機内部の異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
受信機動作不能 [トウサフノウ]	-	交流電源スイッチが「切(OFF)」側の状態で電池の電圧が低下していないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入(ON)」側にする。
		停電などにより、受信機の交流電源が切れていないか？	停電状態が復電するまで待つ。
		副受／中継器用電源 (G1+-G1-) が 20.4V 以上あるか？	受信機内部の電源回路が異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
		交流電源一次側ヒューズ (F1・F2) が切れていないか？	受信機内部の異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
ヒューズ断線 [ヒューズ タン]	ヒューズが 切れています。	副受／中継器ヒューズ (F1) が切れていないか？	副受／中継器用電源配線 (G1+・G1B+-G1-) の短絡を直し、ヒューズ(F1)を交換する。※
		ガス漏れ表示灯ヒューズ (FGS) が切れていないか？	ガス漏れ表示灯電源配線 (GS+-GC) の短絡を直し、ヒューズ (FGS) を交換する。※
外部トラブル [N* トラブル] (* : 1~5)	-	諸警報入力端子 (Nn-NC) に接続されている機器が出力していないか？	接続機器を確認する。
		諸警報入力端子 (Nn-NC) が短絡していないか？	配線を直す。
メモリ異常 [メモリ Err]	-	-	内部メモリ異常(プログラム情報)です。 施工店または点検契約店に連絡する。

※定格のヒューズに交換してください。ヒューズ断線を繰り返す場合は接続機器が定格範囲内かご確認ください。



次のページに続く

トラブル名称 [液晶表示部の表示内容]	トラブル内容の 音声メッセージ	点 検	処 置
登録データ異常1 [データ Err 1]	-	-	ソフト登録データ異常です。ソフト設定を再度行う。
登録データ異常2 [データ Err 2]	-	-	使用回線の登録データ異常です。空き回線登録を再度行う。
登録データ異常3 [データ Err 3]	-	-	内部メモリ異常(ユニット情報)です。施工店または点検契約店に連絡する。
ユニット異常1 [ UT*-##Err 1 (*:ユニット種類 ※1) (##:ユニットアドレス) ]	-	-	受信機内部の該当ユニットもしくは内部ハーネスが異常です。施工店または点検契約店に連絡する。
ユニット異常2 [ UT*-##Err 2 (*:ユニット種類 ※1) (##:ユニットアドレス) ]	-	-	受信機内部の該当ユニットが異常です。施工店または点検契約店に連絡する。
ガス漏れ検知器故障 [ GL*** コショウ (***:回線番号) ]	-	ガス漏れ検知器配線が断線していないか？	配線を直す。
		使用していない回線 (GLn-GC) の空き回線登録がされているか？	受信機の登録スイッチで空き回線の再登録を行う。
		ガス漏れ表示灯ヒューズ (FGS) が切れていないか？	ヒューズ (FGS) を交換する。
		ガス漏れ検知器電源の出力ヒューズ 1・2 (FG5・FG6) が切れていないか？	ヒューズ (FG5・FG6) を交換する。
		ガス漏れ検知器電源の交流電源スイッチが「切 (OFF)」側の状態で電池・電圧が低下していないか？	受信機内ガス漏れ検知器電源の交流電源スイッチを「入 (ON)」側にする。
ガス漏れ受信回路異常 [ カイロ*** カス ] (***:回線番号) ]	-	一斉試験を行い、ガスもれ表示試験項目で全回線点灯するか？または、該当回線のガスもれ試験を行い、正常にガスもれ作動状態になるか？	受信機内部のガス漏れ受信回路が異常です。施工店または点検契約店に連絡する。

※1 「ユニット種類について」(35 ページ) を参照してください。



### 発報／操作履歴の確認方法

●この操作は、過去の受信機動作・操作内容を確認するための操作です。



発報／操作履歴画面は、遅延中、ガスもれ警報時に表示することはできません。

●以下の操作は、点検用スイッチカバーを開けて実施してください。

**1** 履歴確認スイッチを押し、液晶表示部に「リレキ カクニン」を表示させてから実行スイッチを押す。

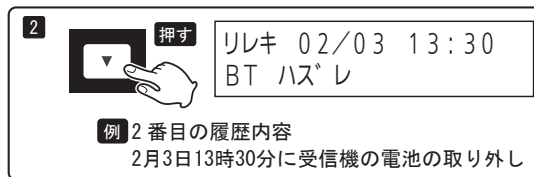
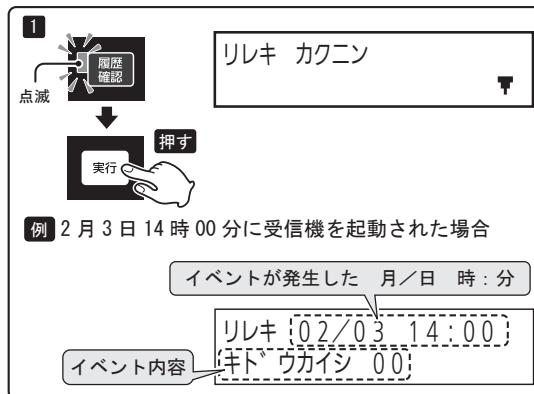
- 履歴確認スイッチ灯、スイッチ注意灯が点滅します。
- 液晶表示部に履歴内容を新しい物から表示します。

**2** ▼スイッチを押すごとに履歴内容が変わります。

- ガスもれ発生の履歴表示時は、発生回線の地区灯も点灯します。

**3** 履歴確認スイッチを再度押すと、平常時の監視状態に戻る。

- 履歴確認スイッチ灯・スイッチ注意灯が消灯します。



### 履歴をSDカードに書き出したい場合

履歴データをSDカードに出力して、パソコンに取り込んで表示することができます。



パソコンで表示させるには専用ツール(FP2TG(ver4以降))が必要です。

**1** SDカードを差し込む。

- 「SDカードについて」(33ページ)を参照してください。

**2** 履歴確認スイッチを押し、続いて▼スイッチを押して、液晶表示部に「リレキ SD カキダシ」を表示させて、実行スイッチを押す。

- 履歴確認スイッチ灯、スイッチ注意灯が点滅します。

**3** 再度、実行スイッチを押す。

- SDカードへの履歴データの出力が始まります。

**4** 出力が終わると、液晶表示部に「カキダシ カンリョウ」が表示されます。

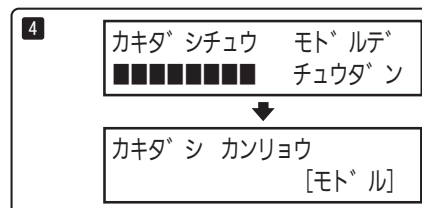
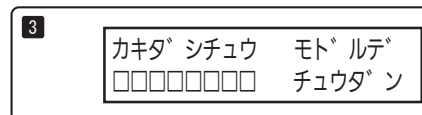
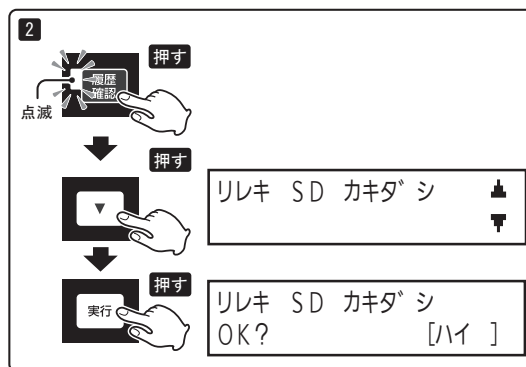
- 液晶表示部下段の進行状況表示の「□」がすべて「■」になると、「カキダシ カンリョウ」が表示されます。

**5** SDカードを取り出す。

- 「SDカードについて」(33ページ)を参照してください。

**6** 履歴確認スイッチを再度押すと、平常時の監視状態に戻る。

- 履歴確認スイッチ灯、スイッチ注意灯が消灯します。



## SD カードについて

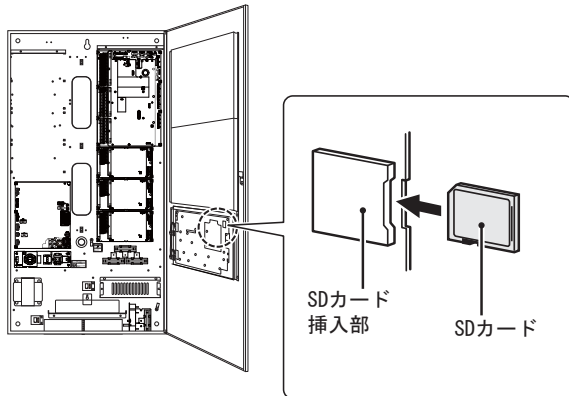
受信機に保存された発報／操作履歴データを専用ツール（FP2TG(ver4以降)）を使ってパソコンに表示したい場合は、SD カードを SD カード挿入部に入れてください。



- SD カードは付属していません。別途ご購入ください。
- パナソニック製の SD カードあるいは SDHC カードをお使いいただくことをおすすめします。

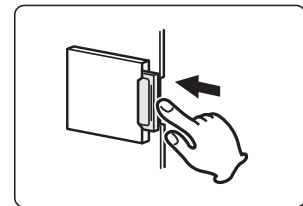
- 1 受信機の扉をあける。
- 2 受信機内(操作部裏側)の SD カード挿入部に SD カードを差し込む。

- 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで奥に挿入してください。



## 取り出し方

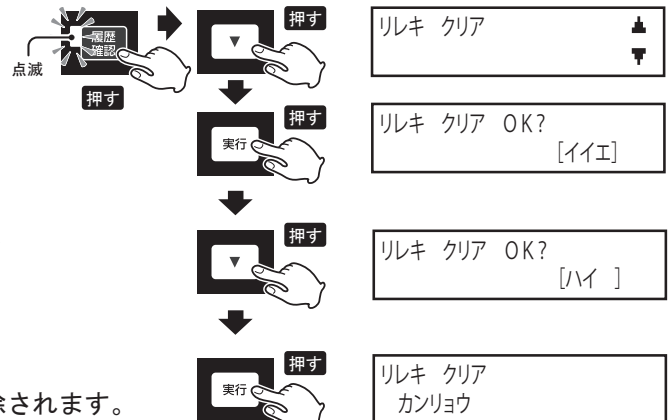
- 1 SD カードをカチッと音がするまで押してから、取り出す。



## 履歴を消したい場合

- 1 履歴確認スイッチを押し、続いて▼スイッチを押し、液晶表示部に「リレキ クリア」を表示させてから実行スイッチを押し。

- 履歴確認スイッチ灯、スイッチ注意灯が点滅します。



- 2 ▼スイッチを押し、「ハイ」に変更する。

- 3 実行スイッチを押し。

- 今までに記録していたすべての履歴内容が削除されます。
- 履歴クリアすると、完了音(ピッ音)が鳴ります。

- 4 履歴確認スイッチを再度押しと、平常時の監視状態に戻る。

- 履歴確認スイッチ灯、スイッチ注意灯が消灯します。

## 2 点検のしかた

### ■履歴表示内容

イベント名称	液晶表示部	履歴内容
受信機動作開始	キトウ カイシ ** (** : 00-02)	受信機が動作開始したことを示します。 ( **...00 : 交流電源スイッチ「入(ON)」 01,02 : ソフト設定終了などによる再起動 )
警報回線(N回線)入力/復旧	N* ON/N* OFF (* : 1~5)	該当の諸警報回線(N*-NC)のON/OFFがあったことを示します。
ガスもれ遅延開始	GL*** ガス チエン (** : 回線番号)	該当回線のガスもれ入力により、遅延開始したことを示します。
	***** ガス チエン (***** : 部屋番号メッセージ)	該当部屋番号メッセージのガスもれ入力により、遅延開始したことを示します。部屋番号メッセージが拡大表示設定時も標準文字サイズ表示になります。 ◀(左)・▶(右)選択スイッチを押すことで、回線番号と部屋番号メッセージ表示を切り替えることができます。
ガスもれ発生/復旧	GL*** ガス ハッセイ/GL***ガス フックユウ (** : 回線番号)	該当回線でガスもれ発生 / 復旧があったことを示します。
	***** ガス ハッセイ/ガス フックユウ (***** : 部屋番号メッセージ)	該当部屋番号メッセージのガスもれ発生 / 復旧があったことを示します。部屋番号メッセージが拡大表示設定時も標準文字サイズ表示になります。 ◀(左)・▶(右)選択スイッチを押すことで、回線番号と部屋番号メッセージ表示を切り替えることができます。
受信機音響強制停止/停止解除操作	オトテイシ ON/オトテイシ OFF	受信機音響強制停止(ON)/停止解除(OFF)操作をしたことを示します。
遅延解除スイッチ ON / OFF 操作	チエンカイシ ョ ON/チエンカイシ ョ OFF	遅延解除スイッチを ON / OFF したことを示します。
移信停止スイッチ ON / OFF 操作	イシンテイシ ON/イシンテイシ OFF	移信停止スイッチを ON / OFF したことを示します。
OP(オプション)スイッチ ON / OFF 操作	OP* ON/OP* OFF (* : 1~5)	OP* スwitchを ON / OFF したことを示します。
履歴消去	リレキ クリア	履歴データの消去が行われたことを示します。
現在時刻設定	ジ コクヘンコウ	年月日時刻が変更されたことを示します。
年替り記録	ネンガ フリ	年替りしたことを示します。
交流電源断発生/復旧	AC タン/AC タン フックユウ	交流電源断(停電)が発生/復旧したことを示します。
電池未接続発生/復旧	BT ハス レ/BT ハス レ フックユウ	電池はずれが発生/復旧したことを示します。
電池試験不良発生/復旧	BTシケン NG/BTシケン NG フックユウ	定時試験で、電池電圧の異常が発生/復旧したことを示します。
主回路電圧異常発生/復旧	テンアツ Err/テンアツ Err フックユウ	受信機内部の回路電圧の異常が発生/復旧したことを示します。
ヒューズ断線発生/復旧	ヒューズ タン/ヒューズ タン フックユウ	ヒューズ断線が発生/復旧したことを示します。
外部トラブル発生/復旧	N* トラブル/N* トラブル フックユウ (* : 1~5)	該当回線の諸警報回線(N*-NC: 諸警報回線をトラブル設定した場合)の入力が発生/復旧したことを示します。
メモリ異常発生/復旧	メモリ Err/メモリ Err フックユウ	内部メモリ(プログラム情報)の異常が発生/復旧したことを示します。
登録データ異常1発生/復旧	データ Err1/データ Err1 フックユウ	設定データの登録内容の異常が発生/復旧したことを示します。
登録データ異常2発生/復旧	データ Err2/データ Err2 フックユウ	使用回線の異常が発生/復旧したことを示します。
登録データ異常3発生/復旧	データ Err3/データ Err3 フックユウ	内部メモリ(ユニット情報)の異常が発生/復旧したことを示します。
ユニット異常1発生/復旧	UT*-##Err1/UT*-##Err1 フックユウ (* : ユニット種類) (## : ユニットアドレス)	受信機内部の該当ユニットの異常が発生/復旧したことを示します。
ユニット異常2発生/復旧	UT*-##Err2/UT*-##Err2 フックユウ (* : ユニット種類) (## : ユニットアドレス)	受信機内部の該当ユニットの異常が発生/復旧したことを示します。
履歴異常発生/復旧	リレキ Err/リレキ Err フックユウ	発報/操作履歴内容の異常が発生/復旧したことを示します。
ガス漏れ検知器電源異常発生/復旧	ガス テンゲン/ガス テンゲン フックユウ	ガス漏れ検知器電源の交流電源断(停電)またはガス漏れ検知器電源電池はずれが発生/復旧したことを示します。
ガス漏れ受信回路異常発生/復旧	カイロ*** ガス/カイロ*** ガス フックユウ (** : 回線番号)	定時試験で、該当回線のガス漏れ受信回路の異常が発生/復旧したことを示します。
ガス漏れ検知器故障発生/復旧	GL*** コショウ/GL*** コショウ フックユウ (** : 回線番号)	該当回線のガス漏れ検知器配線(GL***-GC)の断線、短絡またはガス漏れ検知器の故障が発生/復旧したことを示します。

↓ 次のページに続く

### ■ ユニット種類について

UT0-00Err1

トラブル 001/001  
UT0-00Err1

↑ ユニットのアドレス

↑ ユニット種類を次の番号で示します。

0: 共通ユニット(メイン)

1: 操作ユニット

2: 地区表示ユニット

5: 移信ユニット

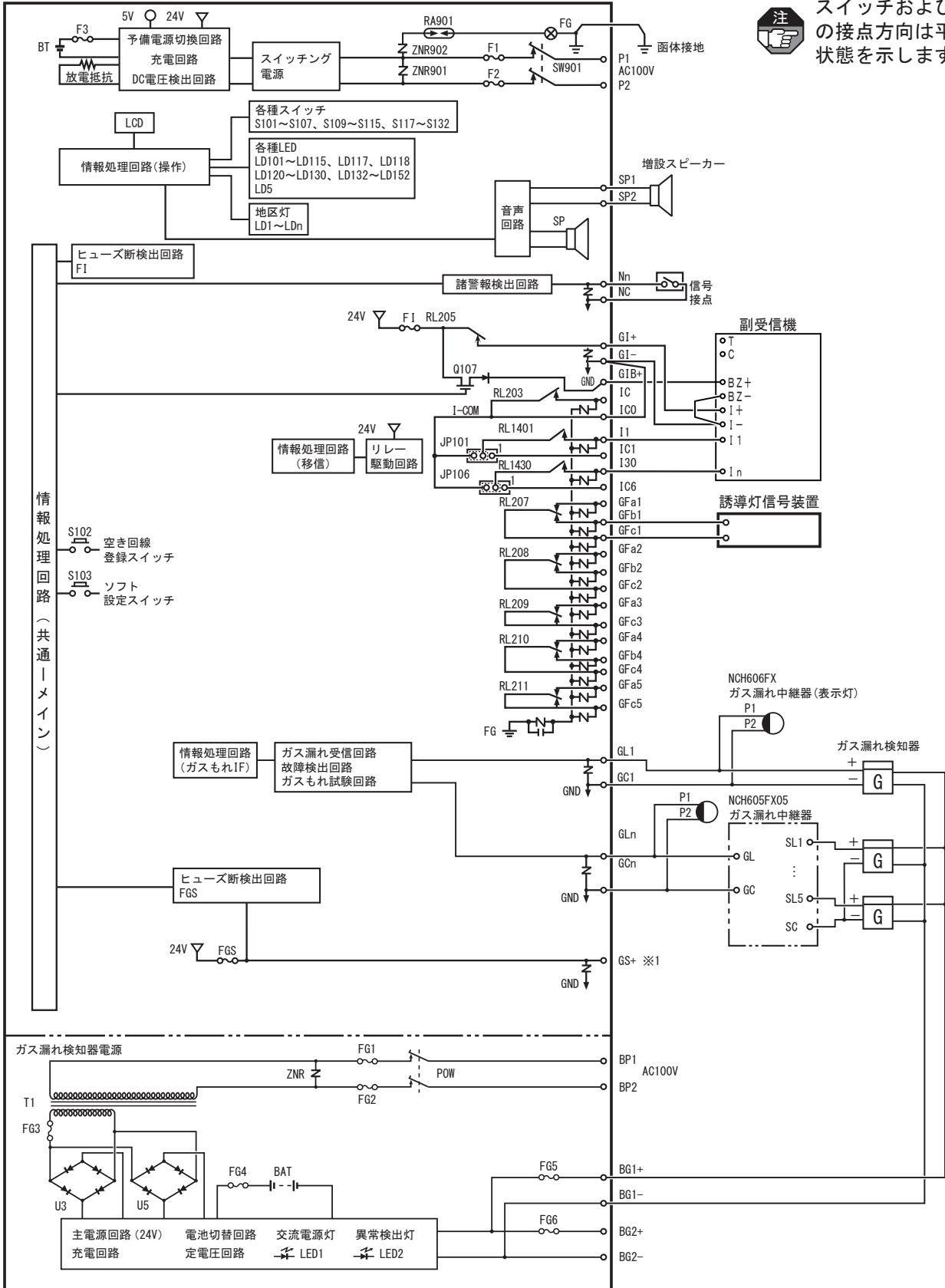
7: ガスもれ IF ユニット(アドレス 0~)



# 3

## 内部回路図

### 受信機



**注** スイッチおよびリレーの接点方向は平常時の状態を示します。

※1: 外線端子 GS+ は、ガス漏れ表示灯中継器 HCH603EX、HCH603FX を接続する場合に使用します。

- **ご注意**
- ガス漏れ検知器および中継器には極性がありますので、極性を合わせて接続してください。
  - ガス漏れ表示灯中継器およびガス漏れ中継器でガス漏れ検知器を接続しない端子がある場合、接続されているわたり線ははずさないでください。

■ **適用品番** NBG605AEA□□(□□は回線数)

記号	名称
SW901	交流電源スイッチ
F1, F2	交流一次側ヒューズ
F3	電池ヒューズ
F1	副受信機ヒューズ
FGS	ガス漏れ表示灯ヒューズ
SP	音声警報スピーカー
RL207~RL211	代表移信リレー
RL1401~RL1430	個別移信リレー(I)
RL203	移信共通リレー
LD106, LD107 LD150, LD151	ガス漏れ灯
LD1~LDn	地区灯
LD117	交流電源灯
LD118	警戒中灯
LD5	トラブル灯
LD123	音響強制停止灯
LD111	音声ガイドスイッチ灯
LD113	履歴確認スイッチ灯
LD114	トラブル確認スイッチ灯
LD115	試験スイッチ灯
LD121	スイッチ注意灯
LD135	遅延解除スイッチ・遅延中灯

記号	名称
LD140	OP1 スイッチ灯
LD142	OP2 スイッチ灯
LD144	OP3 スイッチ灯
LD145	移信停止スイッチ灯
LD146	OP4 スイッチ灯
LD147	点検スイッチ灯
LD148	OP5 スイッチ灯
LD124, LD126, LD128, LD130, LD132	諸警報表示部灯
S129	受信機音響停止スイッチ
S101	音声ガイドスイッチ
S103	履歴確認スイッチ
S104	トラブル確認スイッチ
S113	実行スイッチ
S114	試験スイッチ
S115	戻るスイッチ
S109~S112	上下左右選択スイッチ
S106	遅延解除スイッチ/A-I スイッチ
S117	J-R スイッチ
S107	電池試験スイッチ/S-Z スイッチ
S118	ースイッチ
S125	移信停止スイッチ/1 スイッチ
S121	2 スイッチ
S123	3 スイッチ
S119	4 スイッチ
S127	点検スイッチ/5 スイッチ
S120	OP1 スイッチ/6 スイッチ
S122	OP2 スイッチ/7 スイッチ
S124	OP3 スイッチ/8 スイッチ
S126	OP4 スイッチ/9 スイッチ
S128	OP5 スイッチ/0 スイッチ
LCD	液晶表示装置
BT	電池
RA901, ZNR901, ZNR902	サージアブソーバ
JP101~JP106	移信リレー(I)共通切替ジャンパー

ガス漏れ検知器電源

記号	名称
POW	交流電源スイッチ
T1	トランス
BAT	電池
FG1, FG2	交流一次側ヒューズ
FG3	トランス二次側ヒューズ
FG4	電池ヒューズ

記号	名称
FG5, FG6	出力ヒューズ
U3, U5	整流ブリッジ
LED1	交流電源灯
LED2	異常検出灯
ZNR	サージアブソーバ

# 4 定格・仕様

国家検定型式番号		受第 29～7 号			
回線数		5 回線	10 回線	15 回線	20 回線
MAP サイズ		A3 ヨコ			
常用電源	AC100V 50/60Hz (P1-P2)	消費電力：警戒時最大	25VA		
		消費電力：警報時最大	50VA		
予備電源	ニッケル・カドミウム蓄電池 受託評価適合品 充電方式：トリクル充電		DC 24V:1200mAh 充電電流：24mA		
受信機 定格	ガス漏れ検知器	有電圧出力型（監視：6V, ガスもれ：12V, トラブル：0V） 1 回線あたり 1 コまで（中継器を使用しない場合）			
	ガス漏れ中継器	NCH605FX05 1 回線あたり 2 コまで（直列接続の場合）			
	ガス漏れ中継器（表示灯）	NCH606FX 1 回線あたり 1 コまで（中継器を使用しない場合）			
	外部配線抵抗	50Ω以下（ただし、表示灯中継器の配線は 10Ω以下）			
	主音響装置	警報音（連続音）+ 音声メッセージ：70dB/m 以上			
	副受信機	電源（GI+・GI-） 音響出力（GIB+・GI-） } まとめて DC24V 220mA 無電圧接点 30 出力（IC-I1…I30）接点容量 DC30V 1A まで			
	代表移信接点 ※1	無電圧接点 5 系統（GFc1-GFa1・GFb1）（GFc2-GFa2・GFb2）（GFc3-GFa3）（GFc4-GFa4・GFb4）（GFc5-GFa5） 接点容量 DC30V 1A まで			
	標準遅延時間	約 50 秒			

ガス漏れ 検知器電源 定格	常用電源	100V 50/60Hz (BP1-BP2) 消費電力：警戒時 / 警報時 最大 125VA	
	予備電源	ニッケル・カドミウム蓄電池 受託評価適合品 充電方式：トリクル充電	
	出力電圧・電流	5・10 回線：DC24V 1A×1 系統 15・20 回線：DC24V 1A×2 系統	
	接続ガス漏れ検知器	有電圧出力型 DC24V タイプ	
	ガス漏れ検知器接続数	5・10 回線：10 コまで 15・20 回線：20 コまで（1 系統 10 コまで）	
	ガス漏れ検知器配線抵抗 ※2	接続数により異なりますのでご注意ください。	

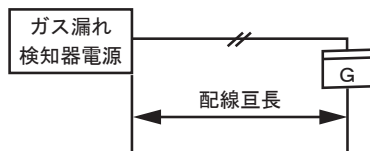
その他	諸警報 電圧・電流	DC24V 短絡電流 5mA、外部配線抵抗 往復 50Ω以下（NC-N1…N5）	
	諸警報音響装置	警報音（断続音）：70dB/m 以上	
	増設スピーカー ※3	光る増設スピーカー…3 台（配線長：φ0.9…50m 以下 φ1.2…100m 以下） 増設スピーカー…1 台（配線長：φ0.9…20m 以下）	
	使用周囲温度	0°C～+40°C	
	質量	5～20 回線 約 35kg	
	主要部品材質	鋼板（厚・函 t=1.2）5 分ツヤ有 メラミン塗装、鋼板（取付金具 t=2.3）防錆塗装	

※1 代表移信接点は、設定により用途を変更することができます。出荷時は（GFc1-GFa1・GFb1）（GFc2-GFa2・GFb2）（GFc3-GFa3）（GFc4-GFa4・GFb4）がガスもれ代表、（GFc5-GFa5）がガス漏れ検知器故障代表になっています。

（詳しくは設定説明書を参照してください。）

※2 ガス漏れ検知器電源の配線恒長について

●配線恒長とは、ガス漏れ検知器電源から最も離れたガス漏れ検知器までの片道の距離です。



●配線恒長（片道）は次の式で求めることができます。

$$\text{配線長 (m)} = \frac{26500}{R \times N}$$

R: 配線抵抗  
φ0.9mm…29.2Ω/km  
φ1.2mm…15.8Ω/km  
N: ガス漏れ検知器接続数

※3 増設スピーカーは主音響、機器作動音響、トラブル音響が鳴動します。（一斉試験音響は鳴動しません。）  
増設スピーカーの鳴動は受信機の主音響鳴動と同じタイミングで警報内容を鳴動します。（鳴動停止も同じタイミングです。）  
光る増設スピーカーの場合は、鳴動と同時にフラッシュランプが点滅します。（点滅のみ、最大 2 分間で消灯します。）





M

emo

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



A series of horizontal lines for writing, consisting of a solid top line, a dashed midline, and a solid bottom line, repeated down the page.



連絡先一覧表

施工店や点検契約店など、記入されておくと便利です。

点検契約店	TEL
施工店	TEL
設備竣工	年 月 日

日本ドライケミカル株式会社